

さぬき野

特集
焼いても、生でもカキをたらふく。

知事対談
俳優 山口智子 × 香川県知事 池田 豊人

ヒト×モノ 讃岐デザイン
コシのある走りを生むデザイン。

軽快のち爽快。 香川の旅ラン。



かがやくけん、かがわけん。

香川県

2025 No.90

秋



「ジャズが、街と田畑と響き合う暮らし」

Nomad 國井類さん、真希さん



類さんはテナーサクソ奏者。ジャズの師匠が開いたニューヨークのライブハウスで、地元ミュージシャンとセッションしていた時代も。

の演奏、音楽講師などの活動にまい進。サークルの後輩だった真希さんと結婚して子どもも授かり、充足した日々を送った。東日本大震災を機に地方への移住を考え始め、2014年、コンパクトシティで暮らしやすいと情報を得ていた高松市に初上陸。太陽の輝きや軽やかな空気に包まれるのに、都市としても洗練されているとすぐに気に入って、旅の最終日には住宅の賃貸契約までしてしまっただ。

移住後すぐは、類さんはアルバイトをしつつゼロからの活動

「音楽と農業を中心に、人が集い、楽しい事が起こる場になりたい」というのが目標だ。春に顧客や友人を招いて催した、田植えとジャズライブを組み合わせたイベントの評判は上々。街と田園を行き来するミュージシャンだけが持つ感覚が、香川の音楽シーンを刺激的にしてくれる。

「Nomad」をオープン。もともと生演奏を聴きたい、自分も演奏してみたいというジャズファンが、ぐんと増えた。昨年には、仲多度郡まんのう町の農村地帯に住居を移す。真希さんが食への関心を深め、農業に取り組み始めたのが大きな理由だ。現在は仲間たちと米を作っている。10月には、自宅横の納屋を改装し、高松の店同様の機能を持ち宿泊もできる施設をオープンする。

Nomad
國井類さん 真希さん
類さんは静岡県、真希さんは愛知県出身。「Nomad」は、音楽活動全般を類さん、ジャズバーを真希さんが担当。スクールの生徒は、小学生から70歳代まで60人ほど。



香川に住んで

はじめたこと



國井類さんは、大学のサークルで出合ったジャズの自由な音に魅了され、プロサクソ奏者の道歩む。最初は故郷の静岡県を中心に、続いて東京都で、ライブ、パーティーや結婚式で



田植え&ジャズライブイベントは、地方が発信するユニークな音楽のあり方を感じさせる。



改装中の納屋。「まんのう町」は毎夏大きな音楽イベントが開催される土地。音楽好きな人が来てくれたら」と二人。

拠点や縁づくり、真希さんは勝手が分からない中での子育てと、新しい土地故の苦労も多かった。真摯に目の前の課題に取り組み続け、2019年にジャズバー、ライブハウス、レストランスタジオを兼ねた



非日常を楽しむ旅。その非日常性をさらに高めてくれるのが「旅ラン」である。長距離じゃなくいい。5kmでも10kmでも、土地ならではの風景の中を走ると、車や電車では気づかない景色に出合っことができる。鳥の声や木々のざわめき、波の音や川のせせらぎも聞こえてくる。旅ランは、旅先の魅力に深く触れることができる、とっておきの方法といえる。気候の良い秋、心が向かう場所を気持ち良く走って旅を満喫したい。

爽快、五感が満ちる。

旅ランの香り。



トレイルランニングの魅力とマンノウマウンテンマッドネス。



MMM企画・運営 ランニングドランカーズ

香川県高松市出身の栗原浩一さんが代表を務める一般社団法人。MMMほか、県内で多数のランニングのイベントを開催。イベントを通して、放置されがちな山や森の登山道を整備するなど、地域の問題解決を試みる。

一般的なジョギングでは舗装された道走るが、未舗装の自然の中を走る「トレイルランニング」という楽しみ方がある。山や森の中を走る爽快感や開放感から、人気が高まっている。香川でのトレイルランニングは、山の中でも里からの距離がさほど遠いわけがなく、携帯電話もつながらやすい。しっかり場所を選べば、これほど初心者にとってつけの土地はないかもしれない。

そのトレイルランニングの猛者たちが集まるイベントが「マンノウマウンテンマッドネス」、通称「MMM」。香川県と徳島県の県境に位置する阿讃山脈で、累積標高約2800mの山中を100マイル(160km)走破する本格的なトレイルランニングレースだ。2021年11月の第1回大会から毎年11月に開催され、今年で5回目を迎え、ますます盛りあがっている。レースを企画・運営している「ランニングドランカーズ」のメンバーは、元々山に入っ



「マンノウマウンテンマッドネス」
2025年は11月1日～2日に開催。現在参加者募集集中。締め切りは10月初旬予定、年齢・人数制限あり。160kmのほかに、80km、40kmもある。

MMMオリジナルデザインのTシャツとバンダナ



アメリカのカウボーイ発祥のレースでは、完走者に記念のバックルが贈られたことに倣い、「MMM」でもバックルが進呈される。その絵柄は開催地に伝わる風習にちなみ牛が描かれている。

目指せとの天の声だ」と思ったという。MMMの人気を支えているのは、メンバーによる入念な準備。未舗装といえども倒木ゼロの走りやすいコースを用意して、レースに集中できる環境を提供している。今年も讃岐の山並みが色づき始める11月初旬、山を愛する人々の思いを礎に、熱狂レースの火蓋が切って落とされる。



船に乗り情緒たっぷりの島ランへ

皇路山(小豆島・土庄町)

高松港からのフェリーが着岸する土庄港から見える、標高394mの里山。登山口まで、船と路線バスを乗り継いで向かう行程は旅情たっぷり。今年の春、地元の有志が山道を整備して、ビュースポットやトイレを示した案内板を増設し、安心のトレランがかなう。多島美の瀬戸内のパノラマを眼下に見渡せば、忘れられない島ランになる。



これぞ地元の愛され山

雲附山(さぬき市)

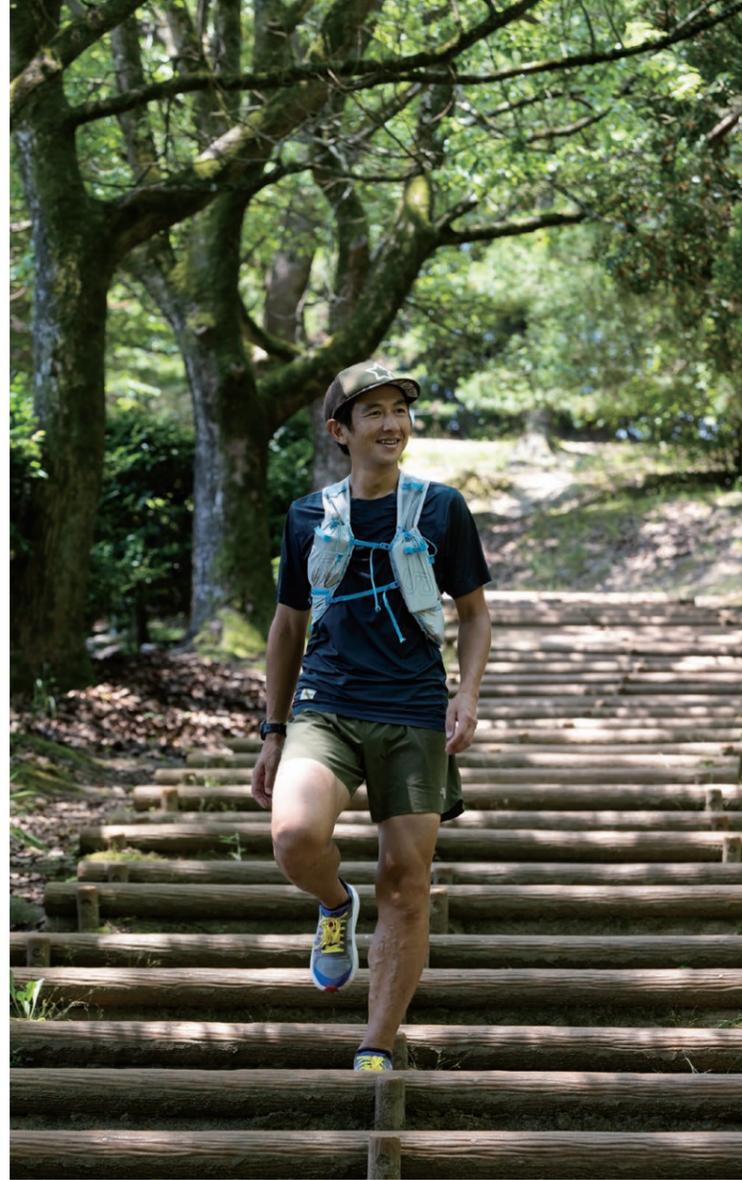
標高240mほどの里山で、メインコースなら山頂まで歩いて30分ほどで登れる。シニアから幼稚園児まで、地元の人が日常的に登山しており、登山口の掲示板や山頂の登山者ノートからも山への飾り気のない親しみが伝わってくる。山腹には、神社や展望台も。香川の東から見る海景色は、高松市以西とは一味違う趣がある。メインコース以外にも多くの道があり、ボランティアによる整備が行き届いているので、どの道も走りやすい。



変化に富むコース。巻道も楽し

猫山・城山(丸亀市)

香川県の東西の真ん中付近にある、二山合わせて10kmほどのコース。山野草や鳥に加え、西長尾城跡、琴ヶ滝、ヒノキ林、阿弥陀地藏など見所が多く、鎖の張られた急登もあって、地理、動植物、山の民俗まで楽しめる。猫山山頂には、平野とおむすび山、その向こうに瀬戸大橋が延びる海の風景が広がる。山の斜面を水平に横切る「巻道」が多く、下りのコーナーリングは風を切って爽快。ラン後は近くの温泉にザブんと。



里山で高松の人と町に触れる

峰山(高松市)

標高232mの栗林公園近くの里山で、市街地からも近い。山頂一帯に広がる峰山公園は芝生や遊具の広場がある市民憩いの場。山全体に多数の道があるので自分に合うコースを選びやすく、トイレや飲み物の自動販売機も、人や町の気配もあり、安心して走れる。栗林公園の背景になっている紫雲山まで足を伸ばしても。



森林公園でため池ラン

公洲森林公園(高松市)

高松の市街地から車で30~40分ほどの森林公園にある、ため池の周囲の森の道を巡るコース。「山に入る自信がない」という未経験者におすすめだ。アップダウンは少なく、穏やかに「湖畔ラン」ならぬ「ため池ラン」を楽しめる。なお、のんびり散歩中の人も多いので、狭い道では気配りを。山にトライしたい人、中級以上の人は、走りがある巻道が多い近くの二子山へも。

観光の合間に、ゆるトレランを。

おむすび山が平野に点在する穏やかな地形の香川は、そこかしこが初心者向けトレランの好適地。地元ランナーおすすめの入門編コースで、心地よく自然に没入しよう。



推薦者 尾形鉄郎さん

トレイルランニング、トレッキングガイド。香川県高松市出身。トレイルランナー歴21年。子どもの頃から里山での遊びに親しみ、大学時代にホームステイ先のアメリカでレースに初参加。帰国後、日本の山も走り始める。現在は高松市在住。県内の山を日常的に走りつづ、アメリカに遠征し100マイルレースに出ることもある。



史跡巡りがてらトレラン挑戦

屋島(高松市)

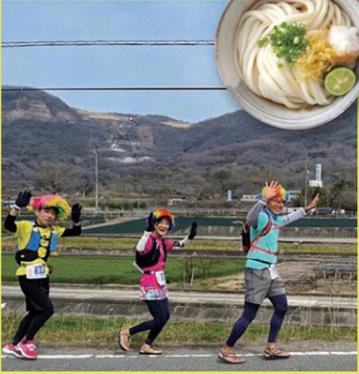
高松市の人気観光スポット屋島で、史跡巡りの合間にトレランに挑戦しては。山上駐車場と北嶺突端の展望台「遊鶴亭」を往復する約4.6kmのコースは初心者向き。木々に包まれた山道はアップダウンも足下の起伏も少なく、トレッキングの延長で、時々走ることから始めるのに最適だ。木漏れ日の森を抜けた先には瀬戸内海が広がり、高松港と小豆島を結ぶフェリーがすぐ近くを通るご褒美も。中級者以上なら、さらに長崎ノ鼻まで屋島のダウンヒルにトライ。





空海にちなんだ修行ラン
普通寺五岳山空海トレイル(普通寺市)
毎年2月頃開催予定

弘法大師空海が幼少期を過ごし、修行の地とも伝わる、普通寺市の西に連なる五岳山が舞台。走る距離を選べるが、時間制限もある過酷なレースとして知られる。



讃岐ならではの、うどんラン
ウルトラうどんマラニック(県内)
毎年4月第1週開催、12月募集予定

大会名の「マラニック」はマラソンとピクニックを合わせた造語。数軒のうどん店を巡りながら、街中、田園地帯と数十キロメートルを走る。目指すは完走賞と完食賞のW受賞。



香川らしさ×ランニング
香川の文化を体験するユニークなイベント2選。いずれも「MM」を運営するランニングドラッカーズが開催。

ランニングドラッカーズホームページ





来年3月、新たなフルマラソン大会「かがわマラソン2026」が開催される。大会のコンセプトは、香川の魅力をまるごと楽しめること。都市型ウォータイフフロント、のどかな田園地帯、穏やかな瀬戸内海など多彩な景色、そして爽やかな風を感じながら、42.195kmを走りきる。道中では、完走を応援するために地元のボランティアが温かくサポートする。大会にあわせて、香川県の食文化や伝統芸能などのイベントも開催されるほか、高松の中心部をゆっくり走る約3kmもしくは約1kmのファンランも開催。ファミリーや初心者など、誰もが楽しく走って、香川の魅力を体験できる1日となる。

県民優先枠は9月16日、一般枠は10月6日よりエントリー開始。早春の讃岐路を舞台とする新たなマラソン大会に、迷わずエントリーしてほしい。

もっと本気で香川を走りたい方へ。来春、新たなフルマラソン大会がスタート。

かがわマラソン2026のコース

起伏を最小限に抑えた走りやすいコース。瀬戸内海や島々、特別名勝「栗林公園」や里山、讃岐平野ののどかな風景など、香川の魅力や自然を満喫できる。



- 大会名称** かがわマラソン2026
- 開催日時** 2026年3月15日(日)
10:00マラソンスタート/10:30高松ファンラン(約3km)スタート/11:30高松ファンラン(約1km)スタート
- コース** あなぶきアリーナ香川前スタート/あなぶきアリーナ香川内フィニッシュ(日本陸連公認取得予定)
- 参加資格** マラソン(42.195km):2007年(平成19年)4月1日以前に生まれた方
高松ファンラン(約3km):①一般の部:中学生以上、②ファミリーの部:小学生と保護者(ペアのみ)
高松ファンラン(約1km):小学生以上
- 競技規則** 2025年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定による

エントリーはこちらから(県民優先枠9/16～、一般枠10/6～)
<https://kagawa-marathon.com/>



【問い合わせ先】
かがわマラソン実行委員会事務局(香川県交流推進課マラソン準備室内)
TEL 087-832-3867(平日 8時30分～17時15分)



大会アンバサダー
富士 加代子さん(写真中央)
4大会連続五輪出場、
世界選手権女子マラソン銅メダリスト
三津家 貴也さん(写真左)
ランニングアドバイザー
志村 美希さん(写真右)
ランニングインフルエンサー、モデル

小さな手袋工場からトレラン・カルチャーを発信。 UNWASTED(アンウェイステッド)



自社ブランドは2つ。ショップ名と同じ「UNWASTED」では商品企画を、「handson grip」は企画から製造までを手掛ける。



店舗はJR三本松駅のそば。おいしいコーヒーを飲むカフェも併設。



「UNWASTED」は、香川県東部の東かがわ市三本松にある、トレッキング、ランニング、アウトドア、フィッシング用品などを扱うセレクトショップ。高い機能やユニークなデザインで名をはせる200ブランドほどをラインアップし、都会から来るランナーやアウトドア派をもうならせている。

東かがわ市は国内生産の9割を担う手袋の産地。UNWASTEDは今年創業70周年を迎える老舗



サングローブ代表取締役社長
内海 紘作さん

関西でアパレル修行した紘作さんと、アメリカ留学でアウトドア文化に親しんだ弟が、自社ブランドと店舗を創設。県内外から、面白いものづくりが好きな若者が集まる企業に。

手袋メーカー「サングローブ」の三代目の内海兄弟が、工場の向かいに開いた店だ。ショップ構想の段階で、OEM※で製造を手掛け信頼を築いてきた、スポーツ、アウトドア、アパレルブランドに商品取り扱いを依頼したところ、「メーカーがショップを開くと「面白い」と、多くの企業が快諾してくれたという。店舗にはそれらの他社製品と共に、自社ブランドとして企画や製造を手掛けたアイテムも並んでいる。

自社ブランドから発売しているトレラン専用グローブは、指先の出るハーフカットタイプ。素手に近いグリップ感があり、汗や水に触れると滑りにくくなる機能性素材をふんだんに使用した。湿気は通すが、防水、防風が可能なフード付きで、フードをかぶせてミトン型にすることで、寒さや雨に対応できる。フィット感の高いものを選ぶよう5サイズ展開しているのもこだわりだ。

「専門性の高いグローブは、確かな性能もデリケートな着用感も求められる。メーカーの経験と技術の集大成」とサングローブ代表取締役社長の内海紘作さん。

アウトドアスポーツの情報発信にも熱心で、トレランナーのスタッフを中心に、顧客を集めてランニングイベントを催すこともある。

「周辺にはトレランができる山、瀬戸内海と砂浜、釣りのできるダムやキャンプ場もあります。アイテムやブランドの情報に加え、恵まれた地元の自然を、私たちがどんなふう楽しんでいるかも伝えたい」と内海さん。

実直なものづくり精神でフレッシュなライフスタイルを表現するショップには、いつでも爽快な空気が満ちている。

※他社ブランドの製品を製造すること。



焼いても



生でも

志度湾周辺のさぬき市志度と高松市牟礼町、仲多度郡多度津町ほか、カキ小屋は県内各地にある。

カキをたらふく。

香川県はカキの養殖が盛んで、栄養豊富な瀬戸内海で育ったカキをカキ小屋で焼いて食べる文化が根付いている。さらに新方式の養殖で、一年中食べられる生ガキの養殖も始まった。晩秋から春まで、香川でカキを食べるなら、さあどっち？

つやつやのアドミルク。新方式のカキ養殖は、試験養殖の期間を経て2025年に事業化された。



アドミルクの養殖は、体験学習施設「ソルトレイクひけた」所長の六車庄一さんが1人で担う。一般的な漁業より軽作業で、漁師の高齢化対策としても有効。東かがわ市と引田漁業協同組合を中心に取り組む事業だ。

カキは冬のもの、というイメージがあるのは、夏のカキは産卵のために痩せて食味が落ちるため。しかしアドミルクは産卵を抑制した三倍体という特殊なもので、通年大きな身に育つ。養殖方法も新しい。今までのカキは、ホタテの貝殻に種ガキを付け、ずっと水中で育てていた。しかしアドミルクは、方形のカゴに稚貝を入れ、カゴの上下を入れ替えることで、環境を変えて育てる。夜の間は海中で十分にプランクトンを摂取させ、昼間は海から揚げて飢餓状態に。メリハリある環境でカキは旺盛に成長し、うま味も濃厚になるという。また殻の開閉回数が多くなり、蝶番近くにある貝柱が大きく育つのも特徴。ふっくらした、とろけるような身に、コリコリした貝柱がアクセント。この食感には、カキ好きもきつと唸るだろう。

風が冷たくなる秋の終わり頃、香川県ではカキ小屋が店を開ける。カキ養殖の漁師が海沿いで営む店も多く、海に構えたイカダと呼ばれる養殖施設で手塩にかけて育てられたカキが、最も食べ頃で陸に引き上げられる。バケツにたっぷり入ったそのカキを、殻のまま次々と鉄板や網に載せて焼き、焼けたそばから食べるのがカキ小屋の流儀。店ごとに殻を扱うための軍手やトンダが備えてあり、時間制の食べ放題、レモン、ポン酢、タルタルソースにタバスコなどのトッピングも選べる。ゴツゴツした殻付きのカキから漂う磯の香りに包まれ、香ばしい熱々の身を頬張れば、胃袋も気持ちもワールドに踊る。近年は、海外からの旅行者までがカキ小屋を目指すほどの人気である。

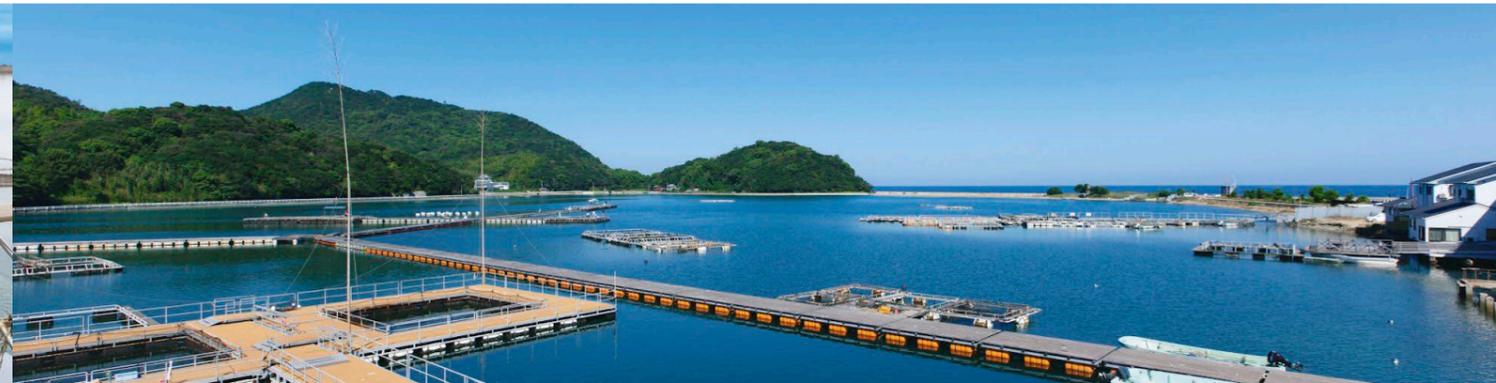
焼きガキ一強だった香川にルーキーが現れた。生で、それも通年食べられるカキである。香川県の東部、東かがわ市の安戸池で養殖されるカキは「A、D、O M、I、L、K」の名前で売り出し中だ。安戸池は砂の堤防で海から隔てられた海水池で、世界で初めてハマチ養殖に成功した場として知られる。養殖事業を牽引した、地元英雄、野網和三郎は「ここを魚が育つ海の牧場にしたい」と常々語っていた。アドミルクは、安戸池という牧場で育てる海のミルクという思いを込めた名前である。

稚貝は、陸上の専用施設で2cm程度で育ててから海に放ち、10cmほどになったら出荷する。

紫外線殺菌した水中で浄化处理。安戸池横の食事処「ワーサン亭」では、この行程を経たアドミルクを生ガキで食べられる。

船の右側にあるのが、カゴの上下を返す機械。「IoT」を活用し、水質データはスマホ管理。

安戸池では今年の冬から養殖規模を3倍に拡大する予定。ふるさと納税の返礼品や、1カゴごとのオーナー制度も検討中だ。





知事 NHK連続テレビ小説「純ちゃんの応援歌」で俳優の道に入られ、その後も数々のドラマに出演し、世の中を魅了し続けられている山口智子さん。2010年からは世界を旅しながら音楽文化を映像に収める活動を続け、2023年にはYouTubeチャンネルを開設して、日本に改めて出会い直す旅の記録を配信しておられます。そんな旅のエキスパートのような山口さんが、昨年は香川県の観光に特化したせとうち観光専門職短期大学のトークイベントに出演されたこととなり、それに先立ち県内を旅してくださいました。

山口 世界のさまざまな民族を訪ね、その風土から生まれた、生きるパワーを生み出す音楽を追いかけました。小豆島の太鼓台の奉納、あの祭りも世界に誇る「音」文化ですね。太鼓のリズムとともに、「えい、しゃしゃげ」とみんなで声を合わせて、心を一つに重い太鼓台を持ち上げて奉納する。一年に一度、自然の恵みに感謝して、みんなでまた頑張っていこう！と力が湧いてくるような、生命力の復活再生の祭りだと思いました。

知事 なるほど、再生の音文化ですか。山口さんは音楽のみならず、「山口智子の風穴!？」というYouTubeチャンネルも配信しておられますね。



開放される 青の幸福感が 忘れられません。

俳優
山口 智子

1964年10月20日生まれ。1988年NHK連続テレビ小説「純ちゃんの応援歌」で俳優の道へ。出演作は『ダブル・キッチン』（'93年）、『29歳のクリスマス』（'94年）、『ロング・バケーション』（'96年）など。2010年から10年をかけて世界を旅し、美しい音楽文化をライブラリーに収めるプロジェクト「LISTEN.」を開始。旅を通して文化を伝える活動により2023年「兼高かおる賞」受賞。日本再発見の旅を綴るYouTubeチャンネル「山口智子の風穴!？」を配信。

山口 香川県を本格的に訪れたのは昨年が最初でしたが、その後も秋祭りの太鼓台を見せていただき、今回も小豆島の皆さんに「お帰り」と迎えていただきました。今年は大学生の皆さんが、日本の原風景をテーマに小豆島を案内してくださり、渡し船に乗って二十四の瞳映画村を訪ねました。映画に登場する昭和の香りが残る木造校舎の窓からは海が見えて、黒板も椅子も机も子ども時代を思い出すような懐かしさがありました。それから、そうめんの箸分け体験をして、次は棚田の風景を望む場所にある竹のアート作品。あの大作を3年ごとに作り替えると聞いて驚きました。海外のアーティストと地元の方が約3カ月かけて一緒に作り上げるそうで、その時期が巡ってくると「あゝ祭りだなと感じる。」と地元の方が話してくださいました。地元の人々も参加できる現代アートの祭典、瀬戸内国際芸術祭は、まさに「生きている祭り」だと実感しました。

知事 瀬戸内国際芸術祭は、地元の方の生活のリズムや生きがいになっているところもあると思います。作品は田舎の空き家にあつたり、堤防の脇にいきなり現れたり。普段は足を運ばないような場所にもあります。アートの力に引かれて、新たな場所の魅力に気付くことができるというわけです。

山口 忙しい東京でのサイクルから抜け出して、鳥への船に乗った途端、時間の流れが全く変わって、青い海の風に癒やされ心がどんどん解き放たれていく！そして鳥から帰る時、フェリーの甲板から皆さんと別れを惜しむ瞬間が、たまらなく胸に沁みます。互いの姿が見えなくなるまで、ずっと手を振って送ってくれる。まるで映画のワンシーンのような感動です。

知事 見えなくなるまで手を振ってくれる姿には、私もぐっと来ます。ところで、小豆島では食も楽しめましたか。

山口 木桶で作る醤油が素晴らしいです。自ら木桶を作る技術を学び、その技も伝承されています。歴史あるそうめん作りにも感動しました。生そうめんをいただきましたが、あんなもちもちのそうめんは初めてで、おいしかったです。手間暇かけて管理された鱧も素晴らしい。鳥のオリブオイルで鱧と野菜をソテーした料理をいただいたのですが、これが目からうるこのおいしさ。

知事 「小豆島島鱧」は、オリブオイルとも相性の良い島の新たな逸品です。さて、山口さんは根源的な音楽の世界を旅するという「LISTEN.」というプロジェクトを手掛けられています。小豆島でも心に残る音との出会いはありましたか？

知事対談 山口 智子 × 池田 豊人

YAMAGUCHI TOMOKO
IKEDA TOYOHITO

誇らしく輝く 香川の魅力。

山口 「LISTEN.」プロジェクトでは、約10年かけて世界の音文化を追いかけ、映像に収めてきましたが、世界の音楽に出会いながらいつも心にあつたのは、自分自身の魂のルーツと言える、心の音楽とはなんだろうか？という疑問でした。胸を張って自分の「故郷の歌」と言えるものが見つからない欠乏感です。でも地球を一巡りして、日本文化がいかに世界と結びついているかを実感し、故郷日本に本気で向き合ってみようと思えるようになりました。知っているようで知らない日本にちゃんと出会い直すため、よほど心に風穴を開けて一歩踏み出す決意を込めたYouTube配信「山口智子の風穴!？」で、日本各地への旅を開始したところ。今回も瀬戸内の美しさ豊かさに大感動しています。

知事 その香川県に、いつでも何度でも帰って来てくださいます。

皆さん、 いつでも何度でも 帰って来てください！

香川県知事
池田 豊人

心に残る風景を始めて一歩踏み出す決意を込めたYouTube配信「山口智子の風穴!？」で、日本各地への旅を開始したところ。今回も瀬戸内の美しさ豊かさに大感動しています。が、こんな美しい故郷に生まれ育ったら、世界に自慢したくてしょう



がないだろうなと思います。

知事 それが私もここを離れて、61歳で帰ってくるまでこの海の素晴らしさに気付いていなかったのです。

山口 えっ！本当ですか？でも確かに、人生一巡りして原点帰る60歳という還暦は、意味深い転機ですよ。まるで生まれたての赤ちゃんのような新鮮な気持ちで、また世界に再び向き合える。再生復活の時ですね。人生一巡りして私もやっと、故郷日本の瀬戸内の素晴らしさに気付くことができました。瀬戸内海の青って本当に美しいですよ。日の光に輝く真つ青な海に漕ぎ出すトキメキと幸福感は最高です。船の上で風に吹かれてみると、身も心も解き放たれて、再びムクムクと頑張る力が湧いてきます。

知事 その香川県に、いつでも何度でも帰って来てくださいます。心からお待ちしています。本日はありがとうございました。

Tyrell

コンパクトな県土に平坦地が多い香川県。
昔から自転車を愛好する人は少なくない。
そんな香川県には、「讃岐ならではのコシのある走り」を
実現した自転車、ブランド名「Tyrell」がある。

コシのある走りを生むデザイン。

有限会社 アイヴエモーション
自転車 × 廣瀬 将人



世界有数の美しい灯台として人々に愛される「せとるべ」をモチーフにした「せとるべルビーレッド」のFCX。まるで香川漆器のような深みのある輝きだ。

「Made in 讃岐」のもう一つのモデルカラー「匠瀬戸内ブルー」のフレーム。

走る・曲がる・止まるの基本性能を美しくデザインしたFCX。

車体の剛性や軽量を保ちながら折り畳むことができるフォールディングタイプ。



「Tyrell」を世に送り出したのは、香川県さぬき市で生まれ育ち、津田の海辺を自転車通勤していたという廣瀬将人さん。文人墨客に白砂青松と

うたわれた「津田の松原」は、廣瀬さんの原風景。潮風に吹かれながら、松原の中を走る心地よさが身に染みていた。そんなふるさとを後にして関東の大学に進学し、東京の都市計画コンサルタント会社に就職。しかし、ふと気付けば、心地よい風を感じられなくなっていたという。都会での暮らしに限界を感じ香川県に帰郷。緑の山並み、穏やかな田園風景、瀬戸の潮風、自転車で走り抜ける全てが心地よかった。いつからか、自転車を人生の友と考えるようになる。そして、実家の納屋で自らが設計したミニベロを組み立てるようになった。

VELOはフランス語で自転車、つまりミニベロとは小さな自転車のこと。香川県は日本一面積が小さな県。市街地や田舎道で、小回りが利くミニベロは、この地によく似合う。しかし、三角形を基本とした従来のフレームでは、車輪が小さな



自社工場内では、研究や丁寧な手仕事が行われている。左はフレームの軽量化のため長年研究を重ねるカーボン素材。右は、元の素材を溶かすことなく接合するろう接の作業風景。

ミニベロに剛性の弱さや不安定性を与えてしまう。そこで、幾度もの試作の末にXの形をした「ストラントデザイン」を生み出した。このシンプルで美しいフレームにより、驚くほど滑らかな走りとなり、安定した操作性を実現したのだ。

記念してオールチタン素材の「折り畳み自転車」を発売し、大きな反響を呼ぶ。そして2015年、フレームのみならず全パーツを

2004年にアイヴエモーションを設立。社名には、こだわりのものづくりを通して、お客さまに深い感動を与えたいという思いが込められている。2007年には小さな工場を借り、Tyrellの看板を掲げた。ここでは「ストラントデザイン」だからこそ実現した初の折り畳みモデルを生み、創業10周年を

一から製造するという夢をかなえるため、念願の自社工場、タイレルファクトリーを完成させた。ここで生まれたのが、まさに「Made in 讃岐」の究極の一台、フォールディングバイク「FCX」。例えば、フレームサイズは体に合わせて3種から、カラーは230色から選べるなど、細やかなオーダーにより、フレーム・フォークとも香川県の自社工場生産の完全受注生産。自転車と対話する楽しさを追求したオリジナルフレームのしなり、乗り手との一体感を生むという。生みの親である廣瀬さんはこれを「讃岐ならではのコシのある走り」と表現する。もちろん讃岐うどんのコシとのどごしの滑らかさに重ね、しなやかに安定した、滑らかな走りを表現したものだ。そのモデルカラーも、瀬戸内海を表現する「匠瀬戸内ブルー」と、ガラス張りの赤灯台、通称「せとるべ」をイメージした「せとるべルビーレッド」。

香川県で生まれた自転車は、讃岐路のサイクリングに最適だ。街に里に海辺に岬に、走りた風景があふれている。なかでも島々での走りはさらに魅力的で、交通問題、環境問題などさまざまな問題解決にもつながる。都市計画にも精通した廣瀬さんは、香川県を自転車の聖地にしたいと願っている。



有限会社 アイヴエモーション

廣瀬 将人

1963年 さぬき市寒川町生まれ
1989年 千葉大学大学院(環境デザイン学)修了
1989年 (株)計画技術研究所入所
1997年 同取締役
2003年 同退社(現在、非常勤取締役)
2004年 (有)アイヴエモーション設立 代表取締役就任
◎資格/技術士 建設部門(都市および地方計画)
◎執筆/環境都市のデザイン(ぎょうせい:共著) 都市と高齢者(大成出版:共著)



工場内の商談兼展示コーナー。FCXをはじめチタンフレームのPKI、最軽量のミニベロCSI、FXシリーズの最上位モデルFSXなど製品の数々が並ぶ。



有限会社 アイヴエモーション

香川県さぬき市寒川町神前1430-1
TEL 0879-49-1613
https://www.tyrellbike.com/

KAGAWA EHIME SETOUCHI SHUN SAI KAN
香川・愛媛 せとうち旬彩館 東京・新橋 アンテナショップ

1F 特産品ショップ、2F 郷土料理レストラン、観光情報コーナーで香川の旬をぜひどうぞ。

「オリーブハマチ×さぬきワインフェア」を開催！
 (10月1日(水)～7日(火))



提供：(一財)かがわ県産品振興機構

さっぱりとした味わいと適度な歯ごたえが魅力の香川県ブランド魚「オリーブハマチ」の刺身などを期間限定で販売します。また、瀬戸内、香川で育まれたぶどうのみを使用した、ポリフェノールの含有量の多い赤ワインなど、さぬき市の特産品を販売しますので、この機会にご賞味ください！(主催：さぬき海の幸販売促進協議会、さぬき市)

1F 1階イベントコーナーでは、香川・愛媛の事業者等が交替わりで地元から出展し、秋を彩るさまざまな催しを行っていますので、ぜひご来店ください。

期間	香川県事業者のイベント内容(出展事業者)
10/15(水)～21(火)	人気の「だし醤油」はもちろん、香川県産にんにくのすりおろしを使用した「にんにくだし醤油」などの醤油調味料を販売します。(鎌田醤油(株)・坂出市)
10/29(水)～11/4(火)	小豆島で主要品種のミッションや、小ぶりて小さめの実をたくさんつけるアルベキーナ、シンボルツリーに人気のエルグレコなどのオリーブの苗木を販売します。(はやし屋(同)・高松市)
11/12(水)～18(火)	小豆島産オリーブを使った「極上の肌ざわりの靴下や手袋」、冬のお出かけが楽しくなる「ふかふかの靴下」など、冬を心地よく過ごすためのアイテムを販売します。((株)5センス・宇多津町)
11/26(水)～12/2(火)	鮮やかな赤と甘味が特徴の坂出三金時(金時いも、金時にんじん、金時みかん)や、地元でしか味わえない銘菓など、坂出の逸品を販売します。((一社)坂出市観光協会)

上記のイベントは、予告なく予定が変更となる場合があります。

2F 瀬戸内国際芸術祭2025 公式グッズ絶賛販売中!

2階の工芸品・雑貨ショップでは、瀬戸内国際芸術祭2025の公式グッズを販売しています。

今回の瀬戸芸も秋会期(10月3日～11月9日)を残すのみとなりましたが、皆さまのご来県とともに、当館へのご来店を心よりお待ちしております。



〒105-0004 東京都港区新橋2-19-10 新橋マリンビル1・2階
<https://www.setouchi-shunsaikan.com>
 香川県・愛媛県共同アンテナショップ運営協議会 TEL03-3574-2028

さぬき野 秋 No.90 令和7年9月15日発行
 企画・発行：香川県広聴広報課
 編集・制作：(株)中国四国博覧堂

心軽く走り出せば、いつもの道も旅になる。瀬戸内の風に包まれて、香川の景色を味わう旅ランをぜひ。気ままな旅ランが、来春初開催の「かがわマラソン」へと気持ちを高めてくれます。
 編集長

香川自慢の食材を使ったレストランフェア
「香川の3ツ星オリーブレストラン」
「さぬきの地魚×香川の銘店～イキな地魚うまいものフェア」



香川の食の魅力発信を行う「かがわの食」Happyプロジェクトでは、香川自慢の食材をおいしく楽しめる2つのレストランフェアを県内の飲食店で開催中です。

「香川の3ツ星オリーブレストラン」では、オリーブオイルやオリーブ牛など香川ならではのオリーブ食材を使用した特別メニューを100店舗で、「さぬきの地魚×香川の銘店～イキな地魚うまいものフェア」では、瀬戸内海で水揚げされる四季折々の新鮮な香川の地魚を使用した特別メニューを100店舗で提供しています。各店こだわりの絶品メニューをこの機会にぜひお楽しみください。



オリーブレストラン

イキな地魚

【期間】12月15日(月)まで
 【問い合わせ】香川県産品振興課
 TEL087-832-3383



香川の旬な情報をお届け

LINEでかがわ お友だち募集中!

香川県LINE公式アカウント「LINEでかがわ」では、県内のイベントやお知らせ、募集など、バラエティーに富んだ最新情報を毎週木曜日に配信しています。

10月には登録者限定で香川の県産品が当たるプレゼントキャンペーンを実施しますので、この機会にぜひご登録ください。

【問い合わせ】
 香川県広聴広報課 TEL087-832-3019



高松の夜を彩る一大イベント
県立アリーナプロジェクションマッピング×ハロウィンイベント



今年3月のプロジェクションマッピングの様子

今年2月に開館した中四国最大級のアリーナ「あなぶきアリーナ香川(香川県立アリーナ)」を舞台に、アリーナを映像と音で彩るプロジェクションマッピングを10月29日(水)～31日(金)に開

催します。ハロウィンをモチーフとした映像エンターテインメントで高松の夜をお楽しみください。

また、10月31日(金)にはハロウィンイベントも開催し、アリーナ周辺のサンポート高松エリアを盛り上げます。

開催の詳細はうどん県旅ネット(香川県観光協会公式サイト)をご参照ください。

プロジェクションマッピング

【開催期間】10月29日(水)～31日(金)午後6時ごろ～8時30分

【投影場所】あなぶきアリーナ香川(香川県立アリーナ)北側

【観覧場所】アリーナ北側シーフロントプロムナード

10月31日夕方からはハロウィンイベントも開催

(開催場所:サンポート高松多目的広場)



うどん県旅ネット

【問い合わせ】県立アリーナを活用した観光コンテンツづくり事業実行委員会(香川県観光振興課) TEL087-832-3360

秋会期がはじまる。宇多津エリアが初参加。
瀬戸内国際芸術祭2025 秋会期

10月3日(金)より、瀬戸内国際芸術祭2025の秋会期が開幕します。今回の秋会期では、香川県中西部の本島、高見島、粟島、伊吹島、そして新たに加わった宇多津エリアが舞台となり、春・夏・秋の3会期中最多となる14のエリアで多彩なアートが展開されます。

宇多津エリアでは伝統の塩づくりや古い町並みをテーマにしたアート作品が展開され、午後8時まで夜間鑑賞が可能です。昼間とは一味違う夜のアート体験を楽しめるのも宇多津ならではの魅力です。

本島では、歴史的な石の文化に着目した作品が、笠島の伝統的建造物群保存地区の美しい町並みとともに展開されます。高見島では、集落で見られる美しい石垣や細道を楽しめる多彩なアーティストによる作品が並び、粟島では海洋環境をテーマにしたプロジェクトや海外アーティストの新作が登場します。伊吹島では、地域に伝わる独自の漁労文化や風習をモチーフにしたアートが展開されます。

さらに、直島や豊島、女木島、男木島、小豆島、大島などの人気エリアでも、引き続き新作を公開、イベントも開催されます。秋の瀬戸内でアートと自然、歴史、文化が響き合う特別な時間をお楽しみください。



塩について語りつくす大集会、塩サミット

【会期】10月3日(金)～11月9日(日)
 【会場】直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、本島、高見島、粟島、伊吹島、宇多津エリア、高松港エリア、宇野港エリア
 【問い合わせ】瀬戸内国際芸術祭総合案内所 TEL087-813-2244
 【公式ウェブサイト】<https://setouchi-artfest.jp/>



ホームページ

○会期限定パスポート：4,500円 16～18歳2,500円 15歳以下無料
 ※一部の施設、作品、イベントでは別途料金が必要になります。

○公式ツアー：芸術祭の公式ガイドがご案内する厳選ツアーで、新作アートや注目会場を巡ります。チャーター船で移動も快適。ここでしか体験できない公式イベント参加ツアーもご用意。
<https://setouchi-artfest.jp/visit/official-tour/>



公式ツアー

○公式グッズ
 身につけて楽しい、可愛いグラフィックデザインのアイテムが勢ぞろい。高松港、直島のオフィシャルショップでもご購入いただけます。

瀬戸内国際芸術祭オンラインショップ
<https://www.setouchi2025.com/>



オンラインショップ

(注)掲載のイベントは、中止または内容に変更が生じることがあります。